

事前評価表

整理番号	7
------	---

地域（地区）名	せいもう 西毛	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	群馬県	対象市町村	たかさきし 高崎市ほか8市町村
事業実施期間	R7年度～R11年度（5年間）	事業実施主体	県、市町村、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	本地区は、群馬県の南西部に位置し、総面積は170千ha、森林面積は113千ha（森林率67%）である。 民有林面積は84千haでスギ、ヒノキを主体とした人工林の面積は46千ha（人工林率55%）となっており、人工林の齢級構成は、8齢級以上の森林が約92%を占め、本格的な利用期を迎えている。 また、林道延長は634千m（林道密度7.6m/ha）で、このほかに作業道1,896千mが整備されており、林内道路密度は30.2m/haとなっている。 一方で、本地区の所有森林の現状は、小規模零細な森林所有者が多く、高齢化や後継者不足などにより森林施業への意欲減退や、造林事業の担い手不足により、手入れが不十分な森林の増加や伐採後の更新が滞ることが懸念されている。 このことから、本地区では、主伐と再造林を推進し森林資源の循環利用を促進するほか、間伐も継続的に進め、公益的機能が高度に発揮される森林づくりを目指すとともに、小規模で複数の施業地を効率よく整備するため、路網整備を含めた施業の集約化を行い、渋川県産材センター等と連携しながら県産材自給率の向上、森林所有者の所得向上及び地域経済の活性化を図る必要がある。 このため、本事業では、森林の有する水源涵養や土砂流出防止等の公益的機能の高度な発揮の維持増進を目指し、西毛地域森林環境保全整備事業計画書を作成し、これに基づき、意欲と能力を有する林業事業体等による森林整備及び路網整備を実施するものである。
事業内容・事業費	森林整備：1,945 ha 人工造林、下刈り、枝打ち、除伐、間伐等 路網整備：林道 3,113m、林業専用道 2,735m 総事業費：2,107,481 千円（税抜き 1,915,892 千円）
費用便益分析結果	$B/C = 4.02$ （総便益（B）＝11,369,673 千円、総費用（C）＝2,831,515 千円）

評価結果	必要性： 主伐及び間伐等の森林整備が必要な人工林を多く占める地区であり、森林の多面的機能の維持増進を図るため、事業の必要性が認められる。 効率性： 計画的な森林整備及び路網整備により施業の集約化が行われ、費用便益分析の結果からも、事業の効率性が認められる。 有効性： 森林整備が推進することにより、水源涵養及び二酸化炭素の固定等の森林の有する多面的機能の維持増進が図られるため、事業の有効性が認められる。
-------------	---

便 益 集 計 表

（森林整備事業）

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：群馬県

地域(地区)名：西毛

（単位：千円）

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	4,361,271	
	流域貯水便益	458,326	
	水質浄化便益	1,442,684	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,248,619	
環境保全便益	炭素固定便益	209,874	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	1,500	
	木材利用増進便益	2,114	
	木材生産確保・増進便益	1,409,408	
森林整備経費縮減便益	造林作業経費縮減便益	165	
	森林管理等経費縮減便益	23,762	
	森林整備促進便益	395,797	
災害等軽減便益	災害復旧経費縮減便益	814,066	
維持管理費縮減便益		2,087	
総 便 益 (B)		11,369,673	
総 費 用 (C)		2,831,515	
費用便益比	$B \div C = \frac{11,369,673}{2,831,515} = 4.02$		

参考

費用便益比 (i=0.02)	$B \div C = \frac{17,193,611}{3,308,014} = 5.20$		
費用便益比 (i=0.01)	$B \div C = \frac{21,634,099}{3,621,607} = 5.97$		

森林環境保全整備事業 西毛地域（群馬県）

